

「エクセレントシティおの」を目指して

未来に向けた『新たな価値観の創造』へチャレンジ

小野市では「行政も経営」と捉え、「顧客満足度志向」「成果主義」「オンリーワン」「後手から先手管理への転換」という「行政経営4つの柱」を基軸に様々な施策を実施し、一定の成果を収めてきた。また、将来の小野市発展の礎を築くため、北播磨総合医療センター、防災センター及び市民交流ホールの整備に加え、ホテルの誘致を進めてきたところである。

ジャパンシンドロームといわれるなかで、今後、小野市においても人口は確実に減り、高齢化の進展は避けられない。生き残りではなく、勝ち残りを目指し「住むなら！やっぱりおの」を実現するためには、ここしかないオンリーワンへの政策転換が不可欠である。

これまで培ってきた行政資源をフル活用するとともに、現状に慢心することなく今一度原点に立ち戻り、ゼロベースの発想で、未来に向けた『新たな価値観の創造』へチャレンジする。

<基本理念>

『行政も経営』より高度でより高品質なサービスをいかに低コストで提供するかを追求
「行政経営4つの柱」顧客満足度志向・成果主義・オンリーワン・先手管理

<行動指針>

「ゼロベースの発想」での政策転換
「いろは」、「3C3Sの更なる追求」、「MMの実践」

<重点項目>

- ① 子ども・子育て、教育環境の充実
- ② 安全・安心な未来の創造
- ③ 快適で、便利な都市基盤の整備
- ④ 市民力による地域づくりの推進